

丁寧な熱心な作業も技術の一つです！！

システムの不具合は、丁寧な点検で補うことができます！！



流入ポンプ槽から油脂ゼロへ
旋回流発生装置の設置で、油脂分は消えて無くなりました。攪拌プロフは不要となり、油脂分の引き抜き、処分の作業から解放されました。



流動槽の担体割れ
当該担体は弱く破損し細かく割れます。そのため担体はスクリーンをスルーします。新型スクリーンの設置で担体漏れ回避しました。



処理槽室にトランクルーム
HVシステムの設置で、臭気と害虫と余剰汚泥処分が無くなりました。その結果、処理槽室にトランクルームが出現。臭気ゼロが実証できました。



接触槽の濾材漏れ
当該処理槽は曝気槽上部の濾材漏れ防止網が破損し濾材が漏れます。移行部に新装置を施し濾材を大きく回流させました。結果、浄化力がUPLしました。



酸素溶解装置

DSP・HVシステム



酸素製造器



固液分離槽の汚泥ゼロに
上の写真は嫌気固液分離槽を組み込んだ処理槽の汚泥堆積状況です。左写真DSP・HVシステムの導入で汚泥を全て消化しました。

日数	BOD	SS	n-Hex	日数	BOD	SS	n-Hex
230	186.0	231.0	5.3	36	52.5	100.0	1.0未満
16	128.0	148.0	9.5	143	50.8	75.0	1.0未満
396	122.0	194.0	4.9	168	48.6	70.6	2.5
79	108.0	140.0	6.2	66	47.0	81.8	1.0未満
80	102.0	183.0	4.3	140	46.4	133.0	1.0未満
129	98.8	189.0	3.8	67	42.5	63.3	2.6
181	96.0	73.7	3.9	59	40.4	158.0	1.3
262	91.0	60.0	7.1	56	34.2	12	
199	85.0	72.0	2.5	66	34.0	2	
139	82.5	95.0	3.3	140	33.3	4	
110	78.4	205.0	1.0未満	149	32.8	4	

水質検査報告より
左図、BOD:186、SS:231、n-Hex:5.3の通り、BOD300、SS300、n-Hex30以下でコントロール運転しています。

コントロール運転で汚泥引抜は、ほぼゼロに近い状態です。

水物語 No75

GW,外出自粛で、心温まる映画に出会いました！



250年余り前、1776年江戸中期の仙台藩・吉岡宿で年貢の取り立てで困窮する宿場町を守るために知恵と工夫、決死の覚悟で立ち上がり宿場町を立て直した住人たちの実話物語です。

宿場町を憂える穀田谷十三郎、宿場一番の知恵者・菅原屋篤平治、十三郎の弟・吉岡宿一の造り酒屋・浅野屋甚内、彼らを中心にした9人で秘策を練り計画を実行しました。

篤平治が出した策は、吉岡宿の有志で銭を出し合い、藩に金を貸して利息を受け取り、その利子を全住民に「配る」という禁じ手でした。百姓がお上に金を貸すなど夢物語というほど現実味の無い策のように思われましたが、目標の千両に相当する5千貫文を集めることが叶いました。

一方、出資する商人たちには子々孫々に至るまで、出資を自慢せず上座に座ることなく、利子も受け取らず、慎ましく生活を送る事を誓わせました。

さて、その結末は・・・・・・。

藩はお金を借り毎年利息を払い、百姓は困窮から救われました。

YouTubeで見ることができます。

外出自粛のお蔭で、心温まる実話を知ることができました。

原作は、磯田道史の評伝「穀田屋十三郎」

新型コロナウイルス対策は長期戦と言われています。1日も早く終息することを願って、不要不急の外出を自粛しています。

汚泥ゼロ・臭気ゼロ！

DSPハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス東京